

東京都立中央図書館
闘病記文庫開設20周年記念講演会

参加無料

記念講演

大切にしたい 自分の体

～2度の子宮がんを経験して～

講師 原 千晶 さん

30歳の時に子宮頸がんと診断され、仕事を一時休業するも、子宮を残す円錐形切除の手術を受け芸能界復帰。しかし、35歳で子宮頸がんと子宮体がんを併発し、子宮全摘出手術を受ける。自身のがん闘病経験を活かし、『婦人科の病を共有できる場に』という想いから「よつばの会」という患者会を設立。さらに自身の経験をもとに全国各地にて講演会を精力的に行っている。



プログラム・申込方法など詳細は裏面

〔日時〕

2025年

6月15日(日)

14:00～16:30 (13:30開場)

〔会場〕

東京都立中央図書館
4階多目的ホール

〔定員〕

80名

事前申込による先着順
※定員に達し次第、
締め切ります

主催：健康情報棚プロジェクト

協力：東京都立中央図書館

健康情報棚プロジェクトが寄贈した闘病記を元に、2005年6月、東京都立中央図書館に、日本の公立図書館で初の「闘病記文庫」が開設されました。今年で20周年を迎えることを記念し、イベントを開催します。

プログラム内容

「東京都立中央図書館

闘病記文庫の概要」

東京都立中央図書館サービス部
情報サービス課健康・医療情報サービス担当

基調講演

「闘病記文庫の設置意義」

健康情報棚プロジェクト代表

石井 保志

2004年、患者家族への情報提供を目指す市民グループを発足。以降、闘病記、患者会資料、絵本などを医療情報資源として位置付ける活動を開始。

2005年都立中央図書館へ闘病記文庫を提言。

記念講演

「大切にしたい自分の体 ～2度の子宮がんを経験して～」

タレント

原 千晶 さん

30歳の時に子宮頸がんと診断され、仕事を一時休業するも、子宮を残す円錐形切除の手術を受け芸能界復帰。しかし、35歳で子宮頸がんと子宮体がんを併発し、子宮全摘出手術を受ける。

自身のがん闘病経験を活かし、『婦人科の病を共有できる場に』という思いから「よつばの会」という患者会を設立。さらに自身の経験をもとに全国各地にて講演会を精力的に行っている。

申込方法

①東京都立図書館ホームページ

<https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/>



②電話 03-3442-8451

③東京都立中央図書館窓口

1階 総合案内・相談カウンター まで

※事前申込による先着順です。定員（80名）に達し次第締め切ります。

※お一人様1回のお申込みのみ有効です。

東京都立中央図書館案内図



- 東京メトロ日比谷線 広尾駅1番出口から 徒歩8分
- 東京メトロ南北線・都営地下鉄大江戸線 麻布十番駅 徒歩20分
- 都営バス 橋86系統 愛育クリニック前 徒歩2分
- 港区コミュニティバス(ちいばす)麻布西ルート97 愛育クリニック 徒歩2分

問合せ先

<取材／講演内容に関すること>

健康情報棚プロジェクト
事務局

メール
tana-project@hotmail.co.jp

<申込方法／時程／アクセスに関すること>

東京都立中央図書館

電話 03-3442-8451 (代表)

〒106-8575 東京都港区南麻布 5-7-13
(有栖川宮記念公園内)

※参加には、事前申込が必要です。
当日枠はありません。

※イベント中の写真撮影・
録音録画はご遠慮ください。

※イベント中はスマートフォン・
携帯電話をマナーモードにして
いただきますよう、ご協力を
お願いいたします。